



untitled

<http://www.kana-pie.com> [untitled]肩書や、形にとらわれず、自由に広がりのある活動を目指して・・・

神奈川県社会福祉法人経営青年会通信

contents

新会長挨拶	p.1-2
新役員紹介	p.2
活動報告	p.3-4
法人紹介	p.5-6
令和4年度卒会者のご紹介	p.6
お知らせ～今後の予定・新会員紹介・会員状況	p.6

新 会 長 挨 拶

令和5年度より会長職を拝命しました三神会の井田と申します。新体制発足にあたり、多くの諸先輩方にお支えいただき、導いていただきました。そして、今期の役員をお引き受けいただいた皆様や、多くの会員の皆様より温かいお言葉やご支援をいただきました。紙面をお借りして、心より感謝申し上げます。

私の役割は、本会を支え続けてこられた諸先輩方の想いを次世代の皆様へ「つなぐ」こと、そして会員の皆様により多くの仲間を得られる機会を作ることであると考えています。本会は神奈川県下の社会福祉事業経営団体に所属する若手職員の資質向上、経営に関する研究および研修並びに会員相互の交流を図るために事業を行うことを目的としている会です。これらの目的を果たし、次世代へ「つなぐ」ためには、私たち自身が変わる勇気を持つことが必要なのではないでしょうか。今までもこれからも、私たちの経営環境は常に変化の連続です。前年踏襲では太刀打ちできない事象が次々と発生します。それらに対応することと同様に、本会の目的を果たすためには、変化を恐れず、新たなことへチャレンジすることが必要なのではないか。変化を恐れない仲間の絆を作ること、私たち個々の力をより強いものとするにつながるのではないか。それをつないでいくことが、本会の魅力をより大きなものとするのではないか。そのように考えています。各委員会の皆様には、



会長 井田 友花
(三神会)

「変化を恐れずに」各種活動の企画・運営をお願いいたします。そして、会員の皆様には積極的なご参加をいただきますよう、お願いいたします。私自身、平成21年の入会以降、多くの仲間と出会い、多くの学びを得てまいりました。共に学び、共に新たな価値を創造することができる仲間を増やすために、会員100名を目指して、常に新しい視点を持ちながら進んでまいりたいと思います。2年間、どうぞよろしくお願いいたします。



新 役 員 の 紹 介



副会長(研修担当)
押川 哲也
(地域福祉協会)



副会長(研修担当)
平本 剛士
(さくら会)



副会長(総務広報担当)
金澤 敬祐
(敬寿会)



副会長(総務広報担当)
石川 友紀
(泉正会)



監事
山室 淳
(一燈会)



監事
二ノ宮 喜博
(多心会)



幹事(研修委員長)
大畑 直
(伸生会)



幹事(総務広報委員長)
広嶋 稔之
(照陽会)



幹事(高齢研究委員長)
小倉 青龍
(松緑会)



幹事(保育研究委員長)
渡邊 成仁
(松が丘保育園)



幹事(障害研究委員長)
関水 貴浩
(福慶会)



幹事(会計)
平本 秀真
(愛成会)



活動報告

令和5年度第1回総会

令和5年6月22日、横浜駅近隣の崎陽軒本店ビルにおいて、令和5年度第1回神奈川県社会福祉法人経営青年会総会が開催されました。

今年度より会長を務める井田会長の挨拶より始まり、会員数89名、出席者23名、委任状40名、合計63票と、全会員の過半数を満たし、総会の成立を確認しました。

議長は伸生会大畑氏が全会一致で任命され、議事を進行しました。令和4年度事業報告(案)について、令和4年度収支決算(案)および監事監査報告については全会一致で承認されました。また、会場には令和4年度卒会になったお二人もお見えになっておられました。井田会長より労いの言葉と感謝状の贈呈が行われ総会が滞りなく終了しました。

総務広報委員 五十嵐 大輔



経営者会青年会合同研修会

令和5年6月22日(木)に神奈川県社会福祉協議会経営者部会との合同研修会が開催されました。講師に株式会社感性リサーチ代表取締役社長

の黒川伊保子様をお招きして「感性コミュニケーション～男女脳差理解による組織力アップ～」をテーマに講演いただきました。黒川伊保子様は、コンピュータメーカーにてAI開発に携わり、男女の感性の違いや、ことばの発音が脳にもたらす効果に気づき、コミュニケーション・サイエンスの新領域を拓いた感性研究の第一人者です。また、人間関係のイライラやモヤモヤに目からウロコの解決策をもたらす著書も多く、「妻のトリセツ」「夫のトリセツ」をはじめとするトリセツシリーズは大ヒットとなり、累計100万部を突破しています。

今回の講演では、ヒトと人工知能の対話研究から人間の脳を電気回路装置と見立てて、コミュニケーション・ストレスの正体・対応法および心理的安全性を確保する対話について講演いただきました。

この世の対話には、結論を急ぎ一刻も早く問題を取り除きたい「問題解決型」(今できること派)と、思いを語り感情に導かれて記憶を再体験・新たな気づきをえる「共感型」(ことわりのいきさつ派)の2種類あり、人は両方の話法を持っているが、立場によって話法の選択が変わり、上司は問題解決型、部下は共感型になりやすいとのことでした。コミュニケーション・ストレスの正体は、一方が「共感型」、もう一方が「問題解決型」になった際に起こり、「共感型」は相手の思いやりの足りなさに人間性の欠如を感じ、「問題解決型」は相手の客観性の足りなさに知性の欠如を感じるによるすれ違いであり、対応として、人の話は共感で聞き、自分の話は結論から話すということを教わりました。

つづけて「今、対話力が問われる時代」とし、心理的安全性とは「なんでもないこと(ちょっとした気づき)をしゃべれる安心感」と定義し、「言うに嫌な思いをする」と感じて発言を止めると、脳は発想そのものを停止してしまい、頭ごなしの対話は、相手の発想力と危機回避能力を奪ってしまうとのことでした。



相手と自分の心理的安全性を確保する対話として、人の話は共感型で聞き、自分の話は問題解決型で話すということでした。機能が多様化し、「社員の発想力」が企業価値を創生する21世紀型の大事なキーワードとして、施設運営に活かして行きたいと思いました。

とても素晴らしい研修を行ってくださった黒川様に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

研修委員 今井 誠

保育研究委員会

令和5年6月28日（水）に、厚木市のカミヤト凸凹保育園+plusと愛川町の春日台センターセンターの施設見学を行いました。当日は6名の方にご参加頂きました。施設案内人は社会福祉法人愛川舜寿会の馬場拓也氏が務めて下さいました。

カミヤト凸凹保育園はインクルーシブ保育を行っており、様々な年齢・国籍・障害を持った子どもたちが生活をしていました。子どもたちが園内を自由に行き来でき、特に給食を部屋だけではなく、廊下など好きな場所で食べる事が出来るのが印象的でした。

春日台センターセンターはグループホームや寺子屋、放課後デイサービスなどが集まった集合型施設です。他にもコロッケ屋、洗濯代行事業もあり日中は高齢者の方が多く訪れ、夕方は小学生の憩いの場になっていて、まさに地域住民の中心拠点になっている印象を受けました。

最後になりますが、今回ご参加頂いた委員の皆様、ご案内して下さいました馬場氏、見学をさせて頂いた施設職員の方々に深くお礼を申し上げます。

保育研究委員長 渡邊 成仁



かながわ高齢者福祉研究大会

令和5年7月5日（水）、パシフィコ横浜において第21回かながわ高齢者福祉研究大会が開催され、高齢者福祉施設紹介コーナーを担当しました。来場した学生向けに『介護・高齢者福祉の「仕事」を知るミニセミナー知っておきたい！介護の職場の基礎知識』をテーマに、青年会を代表して、敬寿会、一燈会、照陽会、蓬萊会の4法人が講演しました。『特養って何？～施設にまつわるエトセトラ～』では、現場のスタッフが話すことにより、リアルな内容を伝えました。『社会を支える。未来を変える。社会福祉法人の魅力』では、地域、企業との関りについて話し、株式会社には無い魅力をアピールしました。『特養って何？～そこで躍動する職種（国家資格）の役割～』では、実際の職員配置をもとに、職種を説明しました。『人生の最期に寄り添う仕事』では、命に寄り添う尊い仕事であることを話しました。今回のセミナーを聞いてくれた学生が、私たち社会福祉法人のことを理解し、就職につながることを期待します。

今回のコーナーは、大会初の試みでしたが、多くの方に来場していただき無事に終わることができました。

総務広報委員 石川 友紀



法人紹介



社会福祉法人 いきいき福祉会

【法人の紹介】

社会福祉法人いきいき福祉会は、生活クラブ生協・神奈川が創立20周年記念事業として組合員7万人に「参加型福祉の実現」への想いを込めてカンパを呼びかけ法人設立のための資金を集め生まれました。

法人設立は、1993年3月。翌年の1994年4月に特別養護老人ホームラポール藤沢が開設しました。その後、神奈川県内25の福祉事業をラポールグループとして展開しています。運営において大切にしているのは「人権の尊重」「地域福祉」です。その実現のために、市民一人ひとりの知恵・労力、時間を出し合う「参加型」を基本としています。

【施設の紹介】

□藤沢エリア

○善行拠点

特別養護老人ホーム、ショートステイ

○稲荷拠点

ケアプランセンター、在宅介護支援センター、デイサービス

○城南拠点

地域密着型特別養護老人ホーム、訪問介護、夜間対応型訪問介護、定期巡回随時対応型訪問介護・看護、藤沢市就労支援事業、明治地区地域ささえあいセンターかるがも、サポートハウス

○鵜沼拠点

辻堂東地域包括支援センター、辻堂西地域包括支援センター、食堂（老人福祉センター内）

○平塚拠点

サポートハウス

□横浜エリア

○三ツ沢拠点

特別養護老人ホームラポール、ショートステイ、定期巡回随時対応型訪問介護看護

○西寺尾拠点

デイサービス、グループホーム、共用型認知症対応型デイサービス、サポートハウス、ライフサポートアドバイザー、ケアプランセンター



【ひとこと】

1994年に開設した特別養護老人ホームラポール藤沢は、最近の異常気象により施設の隣を流れる引地川の増水による氾濫を危惧して「災害予防移転」として2019年に長年地域により育てられた稲荷の地を離れ善行駅から徒歩2分の場所に移転創設しました。特別養護老人ホームで住み暮らす高齢者にとって、急な避難はできません。まして夜間など職員が少ない時間帯で避難指示がでたら…。直近での水害災害を鑑みると、本当に移転が叶ってほっとしています。移転後まもなく新型コロナウイルス感染症により、地域やご家族とも関係が希薄となってしまいました。5類に変更になったとはいえ、まだまだ予断を許さない状況です。しかし、ご利用者の残された時間は限られているので、感染症と付き合いながらできることを常に模索していきたいと思えます。

施設が閉鎖的に孤立しないよう地域と、どのように関わり「便利な道具」として私たちが活用されるか。地域資源である私たちが、積極的に地域に出て広い視野で仕事をできるように感

性を豊かにしたいと思います。また法人理念でもある、人権や地域を大切にしながら今後も職員一同邁進して参ります。

ラポール藤沢 施設長 鈴木 正貴



令和4年度卒会者のご紹介

本会に多大なるご尽力をいただきました令和4年度の卒会者をご紹介します。

稲井 森様(敬愛会) 栗田 義晃様(栗山会) 坂本 陽二郎様(たちばな福祉会)
佐竹 泰三様(聖音会) 佐野 芳彦様(神奈川県社会福祉事業団) 白坂 雅美様(横浜来夢会)
高田 大輔様(横浜来夢会) 多川 友広様(上村鵠生園) 田代 鉄也様(喜寿福祉会)
福原 高洋様(喜寿福祉会) 松井 正志様(光友会) 米山 康之様(米寿会)

長い間、会の発展のためにご尽力いただきありがとうございました。
今後のご活躍と所属法人の益々の発展をお祈りいたします。



お知らせ

詳細については、案内書、またはホームページでご確認ください

今後の予定

開催日	場所等	テーマ等
令和5年10月26-27日	ホテルグランドイザミ	第26回社会福祉法人経営青年会全国大会
令和5年11月27-28日	箱根水明荘	神奈川県社会福祉法人経営青年会宿泊セミナー
令和6年1月16日	横浜ホテルプラム	神奈川県社会福祉法人経営青年会名刺交換会
令和6年2月21-22日	ホテル国際21(長野)	関東甲信越静岡ブロック社会福祉法人経営青年会総会研修会
令和6年2月15日	横浜市	第2回神奈川県社会福祉法人経営青年会総会研修会

新入会員紹介

小泉 幸彦様 (こまや社会福祉事業会)

会員状況

89名 法人数56法人 (令和5年10月1日現在)

編集後記

約3年続いたコロナ禍は収束傾向にあり福祉事業は一定の警戒の中で日常を取り戻しつつあります。青年会の活動もzoomから集合型に戻りました。顔と顔をつき合わせたディスカッションは活気にあふれ充実したものとなり今後の活動に期待です。

発行/神奈川県社会福祉法人経営青年会
連絡先/〒221-0825

横浜市神奈川区反町3-17-2
神奈川県社会福祉センター7階
(福) 神奈川県社会福祉協議会
福祉サービス推進部
電話: 045-534-5662
FAX: 045-312-6302